

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年11月末時点）

みんなでつくる地域計画 ～幸ヶ丘東地区no「わっ！」～				宮崎県小林市 幸ヶ丘東地区	
-----------------------------	--	--	--	---------------	--

農業を担う者数 (うち担い手)	57経営体 (40経営体)	農地面積 (うち農振農用地)	121ha (112.7ha)	主な農畜産物	露地野菜
農業地域類型	中間農業地域	遊休農地	約9.0ha	現状の集積率 (目標)	38.1% (80%)

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
- 小林市は南九州の中央部、宮崎県の南西部に位置しており、幸ヶ丘東地区は市の南西部、霧島連山に接する位置にある。 - 地区内には、若手農業者や農業生産法人も存在するものの、過半の農地について耕作者は60代以上となっており、高齢化が進行する中で、新たな受け手の確保や農地の集約化が課題となっている。 	- 遊休農地の発生を防ぐため、後継者不在農地については地域内の担い手への農地集積を進めるとともに、兼業農家等についても農業を担う者として、幅広く確保を図る。 - 現状の作物を基本としつつ、夏場の冷涼な気候を生かした高原農業の振興も併せて検討する。 - 農地中間管理事業を活用して担い手への農地の集積・集約に取り組み、地域と担い手が一体となって農地利用の改善に取り組む体制の構築を図る。

協議を進める過程で発生した課題	取組経緯(課題への対応)及び今後の予定
- 畑地帯のため、行政サイドで相対契約の状況を把握できる資料が無く、実際の耕作者の調査に苦労した。 - 郵送アンケートで筆別の意向を調査することは困難と考え、アンケートでは経営意向のみ調査し、「縮小」と回答した方のみ個別巡回して手放したい農地を特定していった。 - 現時点で全筆の担う者を1人に特定することは困難なため、エリア内をブロックに分け、希望する耕作範囲を確認する形で担い手の耕作希望エリアを把握した。	- 令和4年12月 第1回地区役員会を開催 - 令和5年9月 アンケート調査実施(10/5㍻切) - 令和5年10月中 アンケート回収率向上に向けた戸別訪問 - 令和5年11月23日 第1回協議の場(地域の役員説明会) ※担い手なし - 令和6年1月24日 第2回協議の場(担い手、保全会役員、畑かん推進員、農業委員、最適化推進委員、市、県、国等関係機関約53名) 地域意見を集約した目標地図案を作成し、改めて地域説明会又は郵送で結果の報告を実施予定。 - 集積計画による利用権設定を求める農業者が未だ一定数いることから、混乱を防止するため、現時点では、モデル地区を含めた市内全34地区の地域計画の策定を令和7年3月末にまとめて行う方針。   (第2回)協議の場の様子